



安心の創造、誠実な経営。



平成 22 年 10 月 14 日

各 位

いちごグループホールディングス株式会社

代 表 者 代表執行役会長 スコット キャロン

(コード番号 2337 大証 J A S D A Q)

問合せ先 専務執行役管理部門責任者 石原 実

(電話番号 03-3502-4818)

業績予想(個別)の修正に関するお知らせ

当社は、2010年10月14日開催の取締役会において、2010年4月19日に発表いたしました2011年2月期(2010年3月1日～2011年2月28日)の通期個別業績予想を修正することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2011年2月期(2010年3月1日～2011年2月28日)通期個別業績予想数値の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
前回予想(A)	3,000	700	300	300	171円42銭
今回予想(B)	5,800	2,400	2,100	2,200	1,227円70銭
増減額(B-A)	+2,800	+1,700	+1,800	+1,900	—
増減率	+93.3%	+242.9%	+600.0%	+633.3%	—
(参考)前期実績	5,587	△90	△402	2,262	2,218円41銭

2. 業績予想修正の理由

本件、主に海外子会社からの配当受領、ならびに資産売却予定につき現況を鑑み精査した結果、通期個別業績予想を修正いたします。

当初発表していた業績予想におきましては、海外子会社の保有する資産の売却金額及び売却時期が不確定であり、また、それに伴う海外子会社からの配当受領額及び配当受領時期も不明確であったため、当該配当金額を保守的に見積もっておりましたが、今般、当該資産売却が相当程度進捗し、それに伴う海外子会社からの配当の一部を受領するとともに、今期予定される今後の配当金額についてもある程度想定出来る状況となりました。

なお、本件子会社からの配当の受領は、当社が事業持株会社であることから売上高に計上することとなるため、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益のいずれも上方修正要因となっております。また、それに加え、当初の業績予想における資産売却予定につきましても現在の経済環境や各案件の状況等を精査し、現況に適応した内容に修正した結果、通期個別業績予想の売上高を58億円、営業利益24億円、経常利益21億円、当期純利益22億円に上方修正することといたしました。

なお、本件業績予想修正の主たる要因は上述の子会社からの配当であり、子会社からの配当は連結決算上消去されるため、現時点におきまして、通期連結業績予想の修正はございません。また、当該配当の原資は、主に関係会社株式の売却によるものであり、通期連結業績予想におきましては、特別利益として織り込んでおります。

以 上

(注) 本資料に掲載されている将来に関する記述は、当社及び当社グループが発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。よって、実際の業績は様々な要因につき、記述されている業績予想とは大きく異なる結果となりえることをご承知ください。